

課題になっている行動 (気になる行動)

集団活動で
集まる場所が
わからない

み

どこにどのよう
に集まればいいのか？

「みんな集まれ」
だけでは



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<p>■ 様々な状況の変化 状況に応じて集合する場所が変わる</p> <p>■ 影響を与える刺激や情報 先生が立っている場所</p> <p>■ 必要な支援がない 本人がイメージできる集まる場所の指示がない</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>■ 受容コミュニケーションの特性：曖昧な指示がわからない</p> <p>■ 社会性・対人関係の特性：周囲の人の状況に気をとめていない</p> <p>■ 先生が立っている場所に強く注目する</p> <p>■ 空間の整理統合の困難さ：周囲の状況を判断して自分の場所を決めることが難しい。</p>	<p>■ 習慣になっているものがある 先生のそばに集まる経験</p> <p><input type="checkbox"/> 自分流の気づき・考え方をもつ</p> <p>■ 過去に経験したこと学んだこと 場所がわからない時には先生のそばに行く</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</p>
<p>■ 行動前の状況※ 曖昧で理解できない集合の指示 先生が立っているのが見える</p>		<p>■ 行動後の状況・結果※ 先生が指示なしで誘導する 注意される</p>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
<p>マットや輪っかなどがある</p>	<p>絵、写真、具体物の理解 印やラインの意味はわかる</p>	<p>見えている指示には注目する</p>

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
<p>環境を変える部分は？</p> <p>・集まる場所を毎回変えないで、習慣化しやすいエリアを決める。ラインでそのエリアの境界を提示する。</p>	<p>本人の特性にあわせた支援は？</p> <p>・本人の位置に、ラインや印、輪っかなどで集まる場所を指示する。</p>	<p>本人に伝える・教える部分は？</p> <p>・本人の理解にあわせて、自然な指示 (例えば、先生やお友達的位置) をイメージしやすい、平面図にして伝える。</p>

解説と支援の方向性について

曖昧でわかりにくい指示を理解することが得意ではありません。周囲の状況を把握して行動することも得意ではありません。「みんな集まれ」だけでは、どこにどのように集まっていればいいかわかりません。周囲の状況を把握して (空気を察して)、自分の位置を考えたり、集団で行動することも得意ではありません。集合する場所を明確に指示する必要があります。